

2021



# 十三公民館だより

発行 十三公民館 Tel・FAX 91-1755

## 入学おめでとう!!

4月7日水曜日午前9時15分から、湖南小学校の令和3年度入学式が同校体育館で行われました。昨年に引き続き新型コロナウイルスの感染防止のため、来賓の出席を得ず児童とその保護者及び教職員で行われました。



式では、新入学児童24名（男子11名・女子名13名）が少し緊張気味ながら元気よく入場し、担任予定の先生から自分の名前が呼ばれると「はい。」とおおきな声で答えていました。

式辞では、金原礼子校長から頑張ってもらいたいこととして一つ目は、いつもにこにこした笑顔でいること。二つ目は、「おはようようございます」、「ありがとう」、「さようなら」の挨拶をしっかりとすること。そして三つ目は、事故などに遭わないよう「自分の命を大切にすること」の三つのお願いをされました。



同日午後2時から十三中学校の入学式が小学校と同様、必要最小限の規模で行われました。

新入生26名（男子10名、女子16名）に対し、濱井孝久校長から中学生としての自覚をもち、立派な中学生になってほしいとして、二つのことをお願いされました。一つ目は、運動や勉強などが得意な人、優しい人、粘り強い人など、人には必ずその人の良さがある。その自分の良さをしっかり見つめ、自信をもって大きく伸ばす中学校生活を送ること。二つ目は、中学校生活は、一生のうちでも一番大きく成長する時期。



考える力、感じる力、表現する力が大きく伸びると同時に、汗を流した分だけ体も強くたくましくなるもの。ただ何となく毎日を過ごすのと、一日一日を大切にしながら生活するのでは三年間で大きな差ができてしまう。

一時間、一日少しやっただけで結果を求める人がいるが、すぐに成果は現れるものではなく、継続して一か月、二か月一年、二年と努力を重ねていると思ってもよらないほどの力がついてくるもの。夢や目標に向かって努力を積み重ねられる人になってほしいと話されました。





# 十三公民館に防災備蓄倉庫設置される！

十三公民館に防災備蓄倉庫が設置されました。氷見市が平成30年度から4年計画で市内の指定避難所に設置されるもので、平成30年に設置された湖南小学校と今回設置された十三公民館、十三中学校及び仏生寺公民館を含めると十三校区には4か所の防災備蓄倉庫が設置されたこととなります。

氷見市では、災害対策基本法の改正に基づき、災害の種別ごとに使用する避難場所の見直しを行い、あってはならない災害に直面した時、即応できる施設整備を行うため、防災備蓄倉庫を設置することとしています。市内には、大規模災害に備え245か所の指定緊急避難場所と十三公民館のような指定避難所が29か所あります。指定緊急避難場所とは、災害の危険が及ぶと判断される緊急時に、その危険から逃れるための場所です。指定避難所とは、自宅もしくは仮設住宅に入居できるようになるまでの間、炊き出しや物資の提供などを受けながら過ごすための避難施設です。避難所は、緊急避難場所としても機能します。

氷見市では十三校区の避難所・避難場所を仏生寺地区では、指定緊急避難場所は吉池公民館はじめ3か所、避難所は、仏生寺公民館、湖南小学校、十三中学校及び十三公民館としています。神代地区の指定緊急避難場所は、氷見運動公園はじめ8か所、避難所は、湖南小学校及び十三中学校としています。布勢地区の指定緊急避難場所は旧布勢保育園はじめ2か所、避難所は、湖南小学校、十三中学校及び十三公民館としています。

防災備蓄倉庫には、わかめごはん、五目ごはん、梅かゆ、クラッカーなどの食べ物のほか、保存水、インバーター発電機、燃料携行缶、投光器、毛布、災害用特設電話、検温器その他40種類以上の災害時に必要な物資が保管されています。

地震、土砂災害、洪水、津波などの災害はいつ起きるかわかりません。緊急時に素早く避難できるよう日頃から家族・地域で場所を確認しておいていただくとともに、万が一の時のために3日から4日程度の非常食を備えて置くことも重要です。

気候変動による豪雨による洪水、土砂災害や地震などもなく、この倉庫の扉をあけることがないように願うものです。



十三公民館の防災備蓄倉庫

## 5月の講座・サークル案内

講座名	曜日	実施日	時間	講師名
詩吟	火	3日・10日・17日・24日・31日	10時30分～	平井静子先生
手芸	火	4日・11日・18日・25日	13時00分～	
三味線	木	13日・27日	19時30分～	山下茂昭先生
茶道（保育園）	火	25日	10時10分～	

【入学式の写真は十三中学校及び湖南小学校から提供いただきました。】